



ハンブルク、ミハエル教会のオルガン



ハンブルク、アルスター湖

工藤篤子メールマガジン 55号 2004.09.07

- ノルウェーの祈りと賛美「この手を組んで」
- 9月3日、ホロコースト生存者の会

ハンブルクはここ数日、さわやかな秋空が続いています。

我が家の庭の栗の大木には何匹ものかわいらしいリスがやって来ては、小さな栗の実を、それはおいしそうにポリポリと食べるのです。この時期、毎朝その光景を見るのが楽しみのひとつです。

●お祈りください：9月7日～13日のルーマニア賛美伝道旅行

皆さんにメルマガが届く9月7日から13日まで、ルーマニアへ賛美伝道旅行に出かけます。今回は、ルーマニアのクルージュ・ナポカ市で尊い宣教活動をなさっている川井勝太郎宣教師のオーガナイズで、師と共に奉仕させていただくことになっています。また滞在期間中、いくつかの孤児院を訪問し、7月のチャリティーコンサートで得た収益金やその後の献金を合わせて捧げさせていただくことになっています。どうぞ、全ての旅程が祝され、また主が力強く働いてくださいますようお願いください。

●ノルウェーの祈りと賛美「この手を組んで」

前号で、オスロの福田雅子さんの葬儀のことについて書かせていただきました。

(事務局注：雅子さんはAKMM支援者でした。)

雅子さんが10日間意識不明だった間、彼女のために切に祈っていた時に、突然心に響いてきた賛美歌が

ありました。昨年、雅子さんがオーガナイズしたコンサートで賛美させていただいた、「この手を組んで」という賛美歌です。これは、ノルウェーの有名な神学者であり賛美歌作家であるビェルクハイム（1904-2001）が書いた、ノルウェーで最も愛されている賛美歌です。ファニー・クロスビーが8000、チャールズ・ウェスレーが6000もの賛美歌を作ったと言われていますが、ビェルクハイムは、生涯なんと15000もの賛美歌を生み出しました。そして1996年にオスロの青年会に招かれた西須磨福音ルーテル教会の永田令先生がこの歌を聴いて感動し、日本語に訳されました。

♪・・ 私の小さな手は 何もできないけれど
この手を組んで祈る時 神の御手は動く
応えは必ずやってくる 神の時がくれば
「わたしがあなたを助ける」と 主の約束がなるから・♪

この曲は、雅子さんの葬儀でもみんなで賛美しました。ノルウェー人はノルウェー語で、日本人は日本語で。そして、私は今なお、毎日この歌を賛美しています。雅子さんを思うたびに、涙と共に、この賛美が口をついて出てくるのです。そして天国の雅子さんから、「工藤さん、よく祈りなさいよ。神様は祈りを通して働かれるのだから。」と励まされているような気がするのです。

雅子さんは、ほんとうに伝道熱心な、明るく活動的な人でしたが、よく祈る人でもありました。昨年のオスロでのコンサートの打ち合わせの時には、司会者のセシル、雅子さん、私の3人は深い祈りへと導かれました。気が付いたら、1時間以上も祈っていました。コンサートの日も、スタッフとの祈りのために、私たちは30分を予定していました。主への賛美と感謝、悔い改め、私たちが救いを願う人々への具体的な祈りは、気が付くとやはり1時間以上になっていました。これまで、国民人口がわずか450万のノルウェーから日本へたくさんの宣教師が送り出されて来ました。この救霊の原動力を、私はこの時、この祈りの中に垣間見たような思いでした。

●9月3日、ホロコースト生存者の会

話しは変わりますが、北ドイツにあるヤッド・ルツという機関が、イスラエルから14名のホロコースト生存者を招待しました。9月3日には、ドイツ・エベネゼルが、その方たちをランチに招きました。私は、その会でヘブライ語の曲を数曲賛美させていただいたのですが、最後に、主の不思議な導きを感じて、「この手を組んで」を、歌詞の内容を説明してから日本語で賛美したのです。歌い終わると、皆が続いてイスラエル国家「ハティクバ」（希望）を唱和し始めたのです。そして、何人もの方が私を抱き寄せ、「日本語は全然わからないのに、不思議と心がひとつになりました。ありがとう、ありがとう。」と、ある方は目を涙でうるませながら喜んでくださいました。

「慰めよ。慰めよ。わたしの民を。」とあなたがたの神は仰せられる。（イザヤ40:1）

昨年の丁度今頃、ホロコーストの生存者の方たちに初めてお出会いして賛美をさせていただいたことがあります。キリスト教会は長い歴史において、「神の選びの民」であるユダヤ人をキリストの名のもとに迫害してきました。この人々に謝罪し、慰めることが私に与えられた賛美奉仕の使命のひとつと感じるようになりました。今回の賛美奉仕において、私の賛美を喜んでくださる方々を見て、大きな慰めを受けた思いでした。

ロシアでの悲惨なテロ事件、まさしく今は終末の時であることを思われます。終末に近づいている今、さらに切なる祈りを主に捧げてまいりましょう。
ルーマニアから戻りましたら、また報告させていただきます。
主の平安と祝福が、皆様と共にありますように！

工藤篤子

♪ ♪ ♪ ♪ ♪

【事務局からのお知らせ】

1. 10月26日(火)： 関西支援者の集い&チャリティーコンサート

- ・ 目的：イスラエルのベツレヘムにある心身障害者の施設「希望の家」支援（パレスチナ人クリスチャンが経営する施設）
- ・ 会費： 1,500円
- ・ 場所： IBC 時間：午後6時30分より。
-

2. 2005年3月19日(土)~28日(日) 「工藤篤子と行くイタリア旅行」を募集しています。

- ・ 旅行費用：348,000円
- ・ 最少催行人員：10人

お問い合わせは事務局まで。